

科目名	サブタイトル	担当教員	配置学年
キャリア実践	面接・グループディスカッションを体感する	田邊 友昭	2年次前期
講義の目的	本講義は、就活の実践講座です。就職活動では面接のない企業はありません。個別面接、グループ面接、グループディスカッションでしっかり自分を伝えていくことが求められる一方で、経験を積まないと緊張感から話ができないということにもなります。授業内では、面接やグループディスカッションの経験を通して、緊張感の中でもしっかり自分を伝えられることを目指します。また、本講義では労働者としての基本知識である労働法についても学びます。		
到達目標	面接という自分を売り込む場としての緊張感の中でも、自分らしく話せるようになることができますようになります。また、労働者としての労働法に関心を持つことが目標となります。		
講義内容	個別面接、グループ面接、グループディスカッションを実践していきます。その都度、応募者役・企業の面接官役・オブザーブ役になり、よりよくするにはどうすればよいのかを話し合う場もあります。他人から見えている自分を意識したり、他人との価値観の違いを感じたり、面接官が何を見ているのかも感じながら、就活スキルを高めていきます。そして、労働者としての労働法に興味を持たせます。		
講義スケジュール	第1講	オリエンテーション 企業が求める人材像を知る	
	第2講	面接官は何を見ているのか	
	第3講	グループディスカッション 評価ポイントを知る	
	第4講	グループディスカッション 役割を知る	
	第5講	グループディスカッション 体験する	
	第6講	グループディスカッション 振り返る	
	第7講	なぜ、面接があるのか	
	第8講	模擬面接 個別面接 自己PR	
	第9講	模擬面接 個別面接 志望動機	
	第10講	模擬面接 グループ面接の意図を知る	
	第11講	模擬面接 グループ面接の対応策を知る	
	第12講	労働法 雇用形態を知る	
	第13講	労働法 ワークライフバランス	
	第14講	労働法 安全衛生・労災保険	
	第15講	まとめ	
指導方法	グループディスカッション、グループ面接、個別面接を行います。面接官役、応募者役、オブザーブ役の役割・視点を体感しながら進めていきます。その役割から、自分が応募者ならどう伝えていくのかを感じながら、自分らしさを表現できるようにしていきます。積極的な参加が自分の成長につながります。そして、労働者としての労働法を知ることで働き方を考えていきます。		
授業外学習	「事前学習」は、自己PR、学生時代に力を入れたこと、志望動機など、わかりやすく具体的に話せるように準備をしてください。「事後学習」は、応募者役、面接官役、オブザーブ役で体感したことを整理しましょう。そして、反省して次につなげていってください。授業でうまくいかなかったても全然かまいません。労働法も意識していきましょう。		
成績評価方法	実践型授業ですので、応募者役・面接官役・オブザーブ役などに積極的に参加しているかどうかの評価になります。本試験(レポート)20%、平常点(授業内課題、発表・発言、グループワーク)80%で総合評価します。		
ステキ	授業内で配布いたします。		
書籍参考	授業内で案内いたします。		
事項記	座学ではなく実践形式なので、ぜひ経験してみてください。		